

科学研究費補助金（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	20671001	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	外部混合状態を考慮した大気エアロゾルの特性研究への新展開	研究代表者 (所属・職) (平成26年3月現在)	持田 陸宏 (名古屋大学・大学院 環境学研究科・准教授)

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>立案された計画に従って研究を遂行する努力はなされており、新たに導入した測器などによる都市大気・森林大気の観測やデータ解析が実施され、外部混合状態と関連させたエアロゾル特性について学術的価値の高い結果が得られつつある。しかし、全体としてみると、当初の目標に比べて研究の進捗は遅れており、改善のために一層の努力が必要である。今後、残された計測技術上の問題を早期に解決し、観測と解析をさらに促進・充実させ、得られた結果の積極的な公表を図り、若手研究（S）に相応しい成果をあげることを大いに期待する。</p>	

【平成26年度 検証結果】

検証結果	<p>研究進捗評価結果で指摘された計測技術上の問題は完全には解消したとは言えず、当初計画の一部に達成されたと言い切れない部分が残された。しかし他の観測手段を活用した都市大気・森林大気の観測などにより、学術的に有用な情報が得られ、観測手法の向上にも寄与しつつあると判断できる。</p> <p>取得されたデータは今後の雲降水及び放射過程のモデリング研究、なかでも極めて先進的な計算手法の検討やその検証などにおいて、重要な役割を果たす可能性が高い。今後、論文による成果の発信に加えて、詳細な観測データの公開などの情報発信を期待する。</p>
B	